

平成30年度
一般会計決算の概要

入ったお金と

歳出

問い合わせ
財政課 ☎ 38-2011



使ったお金をお伝えします。

全体概要

平成30年度は、芦屋市創生総合戦略や新たに策定した行政改革実施計画等の内容を踏まえ、「将来の人口構成の変化に対応する取組」「子育て世代のニーズに沿う環境づくりに向けた取組」「住宅都市としての魅力向上に寄与する取組」に必要な予算を編成し、執行しました。

一般会計の決算規模は、特別会計への繰出金の減少などにより減少しました。歳入歳出の差引額から翌年度への繰越財源を除いた平成30年度の実質的な黒字額は、5億658万5千円でした。

※財政健全化法に定められている4つの財政指標は、いずれも「早期健全化基準」を下回っています。

①歳入総額(1年間の収入の総額)	443億3,069万4千円
②歳出総額(1年間の支出の総額)	433億3,553万7千円
③歳入歳出差引 (収入から支出を引いた額①-②)	9億9,515万7千円
④繰越財源(令和元年度に繰り越す事業に充てる額)	4億8,857万2千円
⑤実質収支(実質的な黒字額③-④)	5億658万5千円

歳入 443億3,069万4千円 … 前年度に比べ24億8,750万8千円(5.3%)の減少に

歳入の約半分を占める市税は、6億6,600万5千円(3.0%)増の227億372万9千円でした。また、平成30年度は南宮町等の市営住宅跡地の土地売却で財産収入が20億2,427万4千円(610.5%)増の23億5,583万7千円となり、財政基金を取り崩すことなく財政運営を行うことができました。

その他、平成30年度に芦屋市にいただいたふるさと寄附金は、1,680件で約5,070万円となり、文化財保護関連事業などに活用しました。一方、市民の皆さんが他の自治体等に行ったふるさと寄附等による寄附金税額控除により、市民税が約4億9,540万円の減収となりました。

歳出 433億3,553万7千円 … 前年度に比べ26億8,414万2千円(5.8%)の減少に

※〔 〕は平成30年度の事業費です

